

現地調査先候補リスト(施設運営系)

		都市名	人口	面積	財政力指数	事例の概要	備考	支援組織等	
劇場、音楽堂等	特別区	指定管理	世田谷区	874,332	58.05	0.71	[世田谷パブリックシアター(世田谷区立世田谷文化生活情報センター内)]1997年、指定管理者(非公募):(公財)せたがや文化財団(音楽事業部、美術館、文学館等も実施。)、期間:2012年4月1日~2017年3月31日	・初代芸術監督佐藤 信 ・「現代演劇と舞踊を中心とする専門的な活動と、市民の自由な創作や参加体験活動を通じ、新しい舞台芸術の可能性を探る劇場」 ・芸術監督や制作・学芸・技術分野の専門スタッフを配置。	・友の会 ・U24(18歳~24歳限定チケット優待) ・せたがやアーツカード(区民限定友の会、劇場以外も)
	一般市	指定管理	可児市	100,944	87.57	0.85	[可児市文化創造センター(ala)]2002年開館、指定管理者(非公募):(公財)可児市文化芸術振興財団、期間:2016年4月1日~2021年3月31日まで	・長時間をかけて整備(1980年基金条例制定~) ・計画初期からの市民参加。頻りに会議やワークショップを開催し、行政と市民の連携を蜜に。 ・施設整備時の市民団体が発展し、自主企画等運営に関わるボランティア団体NPO法人へ。 ・「alaまち元気プロジェクト」…社会包摂型・コミュニティプロジェクト、高齢者施設、障がい者施設、学校等に出向き公演、ワークショップ、座談会等開催。 ・「市民参加プロジェクト」…市民参加で作品を制作、公演。	・アラフレンドシップ(友の会) ・NPO法人alaクルーズ
	特別区	指定管理	墨田区	258,423	13.77	0.38	[すみだトリフォニーホール]1997年開館、指定管理者:(公財)墨田区文化振興財、期間:2016年4月1日~2021年3月31日	・区が新日本フィルハーモニー交響楽団とフランチャイズ提携、日本初。 ・当該施設は、楽団の本拠地。 ・ジュニアオーケストラ等の取り組みを実施。	・トリフォニーホールチケットメンバーズ(友の会)
	政令市	指定管理	川崎市	1,445,484	143	1.00	[ミュージアム川崎シンフォニーホール]指定管理者:川崎市文化財団グループ(代表:(公財)川崎市文化財団、(株)シグマコミュニケーションズ、サントリアパブリシティサービス(株))	・東京交響楽団とフランチャイズ提携 ・「世界屈指の音響」と評される。 ・東日本大震災による被害で休館中も各地でコンサートを開催 ・首都圏のオーケストラが集まる「フェスタサマーミュージアム川崎」 ・こども向けイベント「わくわくミュージアム」	・友の会 ・ホールスポンサー(賛助会)
	政令市	指定管理	北九州市	976,925	491.95	0.71	[北九州市立響ホール]1993年開館、指定管理者(公財)北九州市芸術文化振興財団	・音響に優れるクラシック中心の音楽専用ホール ・有力アーティストによる公演「響シリーズ」を実施 ・室内合奏団は海外でも公演	・チケットクラブQ(友の会)
	中核市	(事業運営は直営)	いわき市	333,802	1232.02	0.68	[いわき芸術文化交流館アリオス]2008年開館、BTO方式(サービス購入型、一部独立採算)、SPC:いわき文化交流パートナーズ(株)(清水建設、佐藤尚巳建築研究所、永田音響設計、シアターワークショップ、施工:清水建設、常盤開発、福浜大建設、カヤバシステムマシナリー、丸茂電機、ヤマハサウンドテックJV)期間:建設:2006年1月~2008年12月、維持管理:2007年9月~2023年3月	・施設整備と維持管理はPFIだが、事業運営は直営(いわき方式)。飲食・物販施設を特定事業として無償貸与 ・効率よりも、「お客様の笑顔」、「地域にもたらされる価値」を優先するため直営とした。 ・東日本大震災のときには、避難所となった。復興計画の中に当該施設の復興が盛り込まれた。 ・震災直後ホール系施設が使用できない中、アウトリーチ事業の再開等により市民の「心の復興」に尽力	
	一般市	指定管理	吹田市	362,845	36.09	0.97	吹田市文化会館(メイシアター)、指定管理者:(公財)吹田市文化振興事業団	・館内レストランを自主財源とし、自律経営 ・多数の自主事業を実施 ・少年少女合唱団、ティーンズクラシックフェスティバルの実施 ・大学共同事業の実施	・メイシアター・メイト(友の会)
	政令市	指定管理	横浜市	3,722,250	435.29	0.96	[横浜美術館]1989年開館、指定管理者:(公財)横浜市芸術文化振興財団、期間:2013年4月1日~2023年3月31日	・充実したコレクション(19世紀後半の印象派・シュールレアリズム等、写真にも注力)があり、世界的視野の展示を行う。 ・横浜トリエンナーレの会場の一つ。 ・子ども、市民のための教育普及活動を実施 ・日経格付5つ星 ・第三者評価の導入	・横浜美術館協力会(友の会) ・コレクションフレンズ(収蔵作品の修復、保存等を目的とする友の会) ・ボランティア ・HEART to ART(賛助会) ・横浜市文化基金
	中核市	指定管理	金沢市	453,081	468.64	0.80	[金沢21世紀美術館]2004年開館、指定管理者(非公募):(公財)金沢芸術創造財団、期間:2014年4月1日~2019年3月31日	・現代芸術の美術館。伝統工芸とともに、この施設を核とした都市ブランドが構築されている。 ・構想時の市長が、「庶民派美術館」をうたう。 ・年間約150万人。リピーターが多い。施設に無料の交流ゾーンがあり多くの人が訪れる。 ・学芸課とは別に交流課を設け、子供向け教育普及プログラム等を実施している。 ・兼六園と繁華街に隣接しており、地元商店街と協力して観光振興の取組みも実施している。	・友の会 ・ボランティア ・サステインメンバー(賛助会)
	中核市	指定管理	久留米市	306,173	229.96	0.63	[久留米市美術館]指定管理者:(公財)久留米文化振興会	・民間の財団から市へ運営を返還 ・収蔵品の東京への引上げが検討されていたが、署名運動により、寄託の形で残ることに。	・サポートボランティア
政令市	指定管理	川崎市	1,445,484	143	1.00	[藤子・F・不二雄ミュージアム]指定管理者:(株)藤子ミュージアム	・生誕地である高岡市に「藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」があり、提携している。	・ミュージアムサポーター(賛助会)	
一般市	指定管理	高岡市	175,719	209.57	0.74	「藤子・F・ふるさとギャラリー」	高岡市美術館2階		
一般市	指定管理	香美市	27,171	537.86	0.29	[やなせたかし記念館]指定管理者:(公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団			
政令市	直営	北九州市	976,925	491.95	0.71	[松本清張記念館]		・友の会	
中核市	直営	姫路市	543,083	534.47	0.85	[姫路文学館]	・姫路を中心とした播磨ゆかりの作家や学者たちを顕彰	・友の会 ・ボランティア	
一般市	指定管理	山口市	194,875	1023.23	0.65	[中原中也記念館](公財)山口市文化振興財団		・中原中也の会(研究会)	
一般市	指定管理	水戸市	270,840	217.45	0.83	[水戸市美術館]1990年、(公財)水戸市芸術振興財団	・市の予算の1%を財団運営に充てる方針を維持。 ・音楽、演劇、美術の3部門それぞれに芸術総監督(ただし、1年経過後、演劇、美術は空席)、芸術監督、専門学芸員を置く。 ・専属楽団「水戸室内管弦楽団」「新ダヴィッド同盟」、専属劇団「Acting Company Mito=ACM」を擁する。	・運営維持会員(賛助会) ・友の会 ・水戸市芸術振興財団運用基金	
複合施設	指定管理	茅野市	55,802	266.59	0.64	[茅野市民館]2005年開館、指定管理者(公募):(株)地域文化創造(市100%出資第3セクター)、期間:2013年4月1日~2018年3月31日	・パートナーシップのまちづくりを掲げており、当該施設整備もその一環。 ・ホール、美術館、図書館の複合施設。 ・基本構想、基本設計、運営計画等の各段階が市民参加により進められ、開館後の運営においても市民参加の事業企画会議等、徹底した市民主導により設置、運営されている。 ・財団法人が最も適した組織であると評価したが、国の公益法人制度見直しの時期と重なり設立が困難な状況になったため、次善の策として株式会社による運営を選択。	・友の会 ・NPO法人サポートC	

現地調査先候補リスト(事業系)

		都市名	人口	面積	財政力指数	事例の概要	備考	支援組織	
芸術祭	政令市	共催	横浜市	3,722,250	435.29	0.96	[黄金町バザール]	・違法な特殊飲食店により環境が悪化したまちを再生するため、アートを活用(市が空き店舗借り上げ、芸術家を入居させる。) ・まちを会場にイベント実施 ・当該イベントがきっかけで、継続活動のための、NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター発足	・バザールサポーター
		主催					[横浜トリエンナーレ]	・日本で初めての都市型トリエンナーレ、大規模な国際芸術祭 ・行政主導で開始 ・総合ディレクターが毎回変わる。 ・ボランティアサポーター育成「トリエンナーレ学校」	・横浜トリエンナーレサポーター「Hama-Treats!(ハマトリーズ!)」
	一般市	実行委員会	十日町市	57,164	590.39	0.37	[越後妻有大地の芸術祭]	・十日町市、津南町で開催 ・ワークインプログレス方式(芸術家はその土地の住民と対話しながら、土地固有の歴史、文化をふまえて作品をつくる。) ・世界最大級の国際芸術祭、トリエンナーレ方式、里山を舞台とする。 ・北川フラム氏に新潟県担当者からアートによるまちづくりを相談したのがきっかけ。	・こへび隊(サポーター) ・妻有ファンクラブ(友の会) ・まつだい棚田バンク(棚田オーナー制度) ・古民家オーナー ・ふるさと納税等
	中核市	実行委員会	高松市	429,276	375.41	0.81	[瀬戸内国際芸術祭]	・高松港周辺、宇野港周辺、直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島で開催 ・越後妻有大地の芸術祭と類似した方式、海と島々を舞台とする。 ・島の小中学校が再開するなどの効果	・こへび隊(サポーター) ・企業ボランティアサポーター ・個人向け寄附(ふるさと納税等) ・法人向け寄附
一般市	実行委員会	別府市	121,100	125.34	0.57	[別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」]	・トリエンナーレ方式、市民主導 ・別府市を本拠とするアートNPOのBEPPU PROJECTが仕掛人 ・外国人居住率が高く、温泉街であることを生かしたコンセプトのもとで開催	・ぼんだいさん(サポーター)	
演劇祭	特別区	主催	豊島区	275,507	13.01	0.51	[池袋演劇祭]	・豊島区は、池袋を中心に小劇場やアトリエが多く、演劇のまちであり、若手育成のため、当該演劇祭を実施 ・公募による審査員により、演劇祭賞を決める。	
	一般市	共催	鳥取市	193,064	765.31	0.51	[鳥の演劇祭]	・東京で活動していた鳥取市出身の演出家中島諒人が故郷に本拠を移した。 ・鳥取市が、旧鹿野幼稚園、旧鹿野小学校の一部をえるように手配し、「鳥の劇場」に。 ・鳥の劇場運営委員会、鳥取県が主催で実施	・ボランティア
	一般市	実行委員会	飯田市	104,792	658.66	0.53	[いいだ人形劇フェスタ]	・国内最大級の人形劇イベントで、海外からも参加がある。 ・人形浄瑠璃等伝統文化の宝庫といわれる。 ・前身の人形劇カーニバル飯田は、飯田市主催の形では20回目で終了したが、市民がイベントの継続を希望し、市民主体(実行委員会形式)の開催で現在にいたる。 ・参加者は有料のワッペン(参加証)を付ける。	・賛助会員 ・サポートスタッフ
音楽祭	一般市	共催	松本市	242,446	978.47	0.70	[セイジオザワ松本フェスティバル(旧サイトウキネンフェスティバル)]	・桐朋学園創始者の1人である齋藤秀雄の没後10周年を記念して、弟子100人がメモリアルコンサートを行ったのが基礎となり、サイトウ・キネン・オーケストラが誕生した。 ・松本市を本拠とし、総監督小澤征爾のもと、オーケストラとオペラを2本柱とするサイトウ・キネン・フェスティバル松本が始まった。 ・当該音楽祭のために、サイトウ・キネン・オーケストラが編成され、海外でも公演する。 ・名称をセイジオザワ松本フェスティバルに変更して継続	・セイジ・オザワ 松本フレンズ(500人限定友の会) ・OMF個人協賛制度(10万円以上でチケット)
音楽祭	一般市		別府市	121,100	125.34	0.57	[別府アルゲリッチ音楽祭]	・世界的に有名なピアニストのマルタ・アルゲリッチが、友人の日本人ピアニスト伊藤京子を介し、当時の別府市長の依頼で、別府市市民ホール名誉音楽監督に就任した。 ・翌年から自ら総監督を務める音楽祭を開催 ・(公財)アルゲリッチ芸術振興財団が音楽祭を企画、運営 ・若者や子ども向けプログラムも実施	・財団への寄付 ・ボランティア